

## 第3章 保健衛生室 地域保健課

### 第1節 32501 感染症危機管理体制の確保

伊勢志摩地域における感染症等の健康危機発生を予防するとともに、拡大防止のため迅速かつ的確な対策を総合的に推進します。

#### 1 感染症危機管理体制の確保

##### (1) 伊勢地域感染症対策会議の開催

伊勢地域における感染症等の健康危機発生を予防するとともに、拡大防止のための迅速かつ的確な対策を総合的に推進するために連絡会議を開催しました。

平成23年度は、伊勢地域のおもな感染症発生状況等について情報共有と対策の検討を行いました。

日 時：平成24年3月5日（月） 19：30～

場 所：三重県伊勢庁舎 4階 401会議室

内 容：協議事項

- 1 管内でのおもな感染症発生状況について
- 2 症候群サーベイランスについて
- 3 意見交換

関係機関における情報の共有を図るとともに現状の把握を行い、今後の対応について話し合いました。

今後も必要に応じて関係機関との会議を行っていきます。

## 2 結核予防対策

結核の予防及び結核患者に対する適正な医療の普及を図るとともに、接触者健診に重点を置き患者管理の徹底を図りました。

新たに発生する結核患者中に占める高齢者の割合は年々増加傾向にあることから、高齢者に関わる各機関に対して啓発活動を強化し、早期発見・早期治療及び服薬支援体制整備に繋げました。

また学校保健においては、教育委員会と連携を図り集団感染の予防対策に努めました。

### (1) 定期健康診断実施状況

平成24年3月31日現在

区 分 種 別		定 期					計	
		事業者	学 校 長		施設 の長	市 町 長		
			高校	その他		乳幼児		その他
BCG接種者数						1,727	1,727	
間接撮影者数		2,598	2,296	1,259	186	3,396	9,735	
直接撮影者数		8,281	7	48	1,232	7,554	17,122	
喀痰検査					2		2	
被 発 見 者 数	結核患者				1		1	
	結核発病のお それがあると 診断された者				1		1	

### (2) 接触者・管理健康診断実施状況

平成24年3月31日現在

区 分	受信者数	ツ反応検査	B C G	直接 撮影	喀痰 検査	Q F T 検査	結 果	
							要治療	要注意
家族接触者健診	335	2	0	229	0	178	3	4
管理健診	9	0	0	9	0	0	0	0
計	344	2	0	238	0	178	3	4

(3) 結核登録患者状況

市町別結核登録者数

平成23年12月31日現在

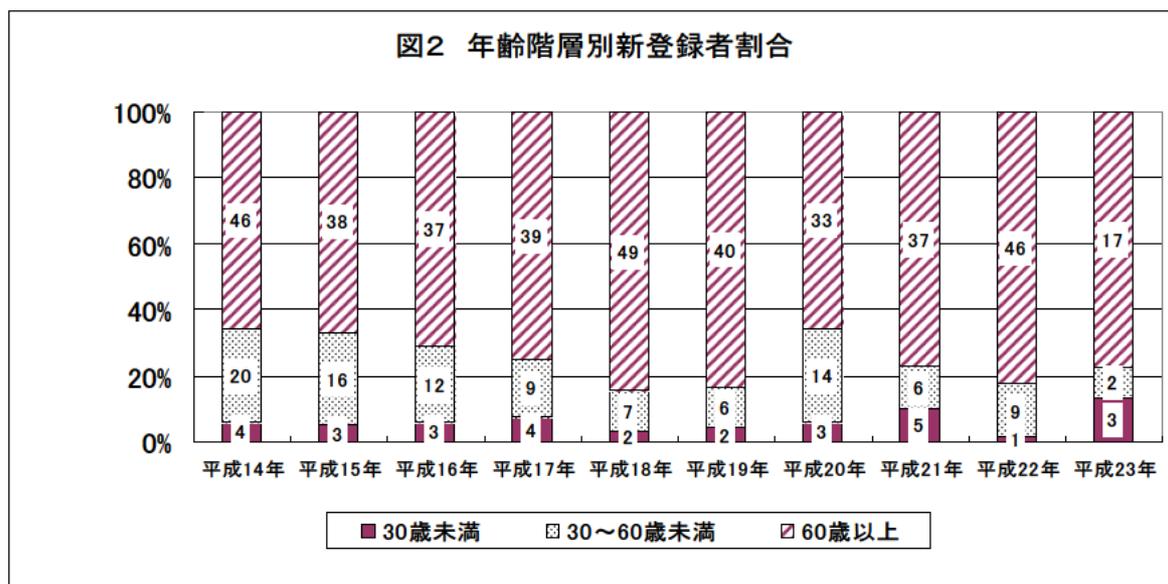
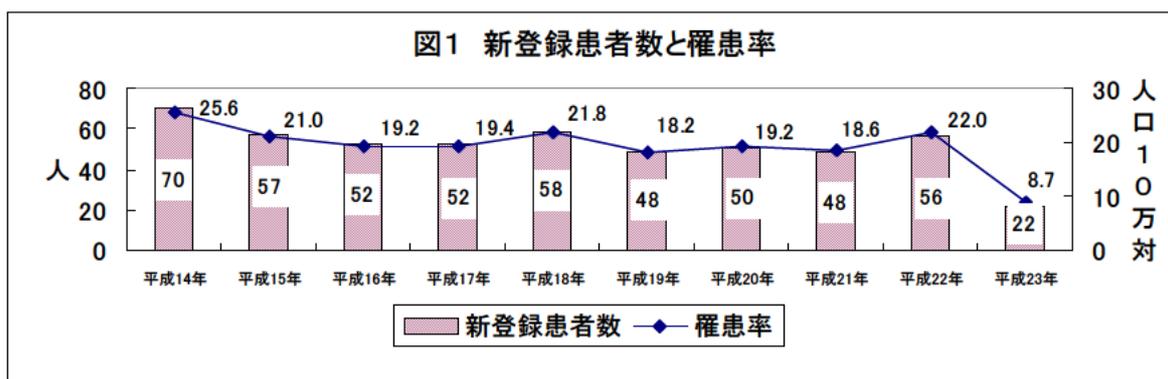
市町名	登録数	活動性	新登録数	人口	有病率	罹患率
伊勢市	42	7	7	129,826	5.4	5.4
鳥羽市	14	3	2	20,949	14.3	9.5
志摩市	33	5	7	53,881	9.3	13.0
玉城町	6	2	2	15,262	13.1	13.1
度会町	2	0	0	8,652	0.0	0.0
大紀町	5	1	1	9,694	10.3	10.3
南伊勢町	12	4	3	14,418	27.7	20.8
管内合計	114	22	22	252,682	8.7	8.7

(注) 人口は平成23年10月1日現在。

有病率：活動性全結核患者数／人口×10万人

罹患率：新規登録結核患者数\*／人口×10万人 \*潜在性結核感染症除く

(4) 結核に関する統計資料



## (5) 学校保健との連携

学校保健では、結核患者の早期発見及び集団感染の予防のため、定期健康診断を実施しています。保健所は公衆衛生の専門機関として、教育委員会や保健所感染症診査協議会の専門医と協力し、結核患者に関する情報の整理や教育委員会主催の結核対策委員会運営にあたり、事務局への助言・指導を実施しました。

- 結核対策委員会へ委員として所長が参加

## (6) 平成23年度結核対策特別促進事業

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、医療機関や地域の関係機関との連携を強化した個別の服薬支援が重要であることから、院内DOTSから継続した地域DOTSを推進することで、結核の最大の予防策である服薬の完遂をめざしました。

### ① 結核病床を有する病院とのDOTSカンファレンス

参加者：医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、検査技師等

実施回数：延べ12回

内容：入院中及び退院後の患者についての事例検討、情報交換

### ② 個別の服薬支援

訪問延べ99件、電話延べ25件、所内面接9件

### ③ 結核の知識普及・啓発

- ・ 市町の健康管理担当職員等を対象とした感染症研修会にて、結核の最新のデータ、及び保健所の取り組みについて説明し、協力を依頼しています。
- ・ 老人保健施設内にて発生した結核患者管理をとおして、施設職員の結核への理解を深めるような支援をしています。

※「DOTS」とは、Directly Observed Treatment, Short-course (直接服薬確認療法)のことで、WHOの推奨する患者の服薬を医療従事者等の第三者が確認する治療法をいいます。日本では平成12年に日本版21世紀型DOTS戦略として、必要に応じてDOT (Directly Observed Therapy : 直接管理下治療) も用いる包括的な服薬支援体制を推奨しています。

### 3 エイズ相談・検査及び普及啓発事業

エイズ対策として、性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止をはかるため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療の充実、相談、指導など総合的に事業を展開しました。

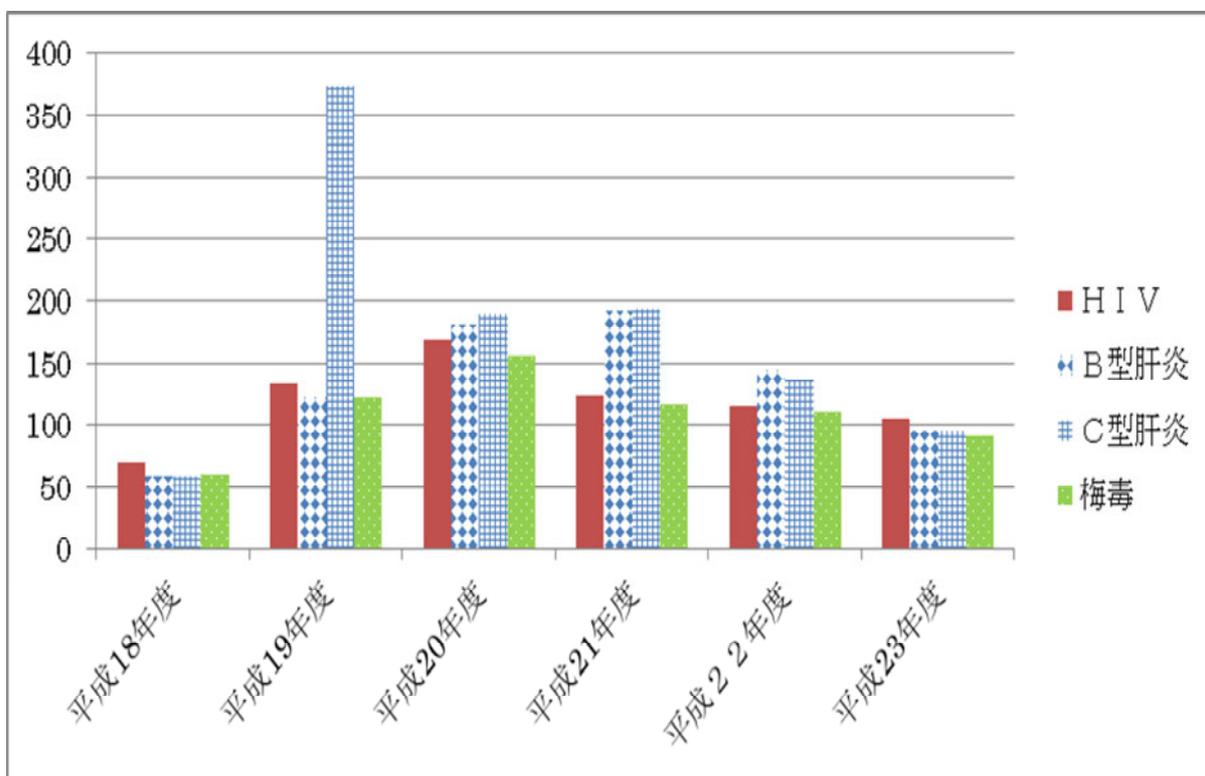
(1) エイズに関する正しい知識の普及啓発を図るとともに相談及び抗体検査を実施しました。

平成24年3月31日現在

相 談 件 数					検 査 件 数	
電 話		来 所		合 計	スクリーニング 検査	確認検査
男	女	男	女			
24 (0)	15 (0)	80 (28)	28 (6)	147 (34)	105 (34)	1 (0)

( ) 内は夜間実施分(再掲)

#### ○特定感染症検査数の推移



(2) エイズ感染予防と患者及び感染者への偏見の除去、さらに共生社会への構築を図るための普及啓発を実施しました。

○ 健康教育実施状況

実施日	対象者	内容
平成23年9月1日(木)	伊勢保健衛生専門学校 看護学科、歯科衛生学科 生徒 130 人、 教職員 8 人	若い世代を対象にエイズや性感染症について正しい知識や予防について啓発を行うことを目的としました。 「命の大切さ～エイズを含む性感染症を切り口として」というテーマで志摩病院助産師による講演会を実施しました。

○ 世界エイズデーキャンペーン実施状況

実施日	対象者	内容
平成 23 年 12 月 1 日(木)	高校生 及び 地域住民	近鉄宇治山田駅前にて伊勢保健福祉事務所職員によりエイズ予防に関する呼びかけと啓発物品（ポケットティッシュ 1,600 個、検査案内チラシ）の配布

#### 4 特定感染症検査

(1) 梅毒等検査状況

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ相談・検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、またウイルス性肝炎の検査を推進することで、これら感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

平成 24 年 3 月 31 日現在

	梅毒	B型肝炎	C型肝炎
男	67 (24)	66 (23)	66 (23)
女	25 ( 6)	29 ( 5)	29 ( 5)
合計	92 (30)	95 (28)	95 (28)

( ) 内は夜間検査実施分(再掲)

## 第2節 32502 感染症予防および治療体制の充実

多様化、複雑化する感染症に対し、平常時から正しい知識の普及啓発等感染予防に努め、感染症発生時には人権を尊重しつつ、迅速かつ的確な対応をもってまん延防止に努めました。

### 1 感染症予防対策

#### (1) 感染症発生状況

一類感染症：0件

二類感染症：0件（結核を除く）

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3件（保菌者を含む）

四類感染症：日本紅斑熱 35件、レジオネラ症 1件、A型肝炎 1件、E型肝炎 4件、レプトスピラ症 1件

五類感染症：ジアルジア症 1件、風しん 2件

#### ○ 発生状況の推移（三類感染症）

区 分	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
細菌性赤痢	0	0	0	0	0
腸チフス	0	0	0	0	0
パラチフス	0	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	2	7	14	7	3
合 計	2	7	14	7	3

#### (2) 検疫実施状況

検疫通報件数 0件

#### (3) 行政検査依頼件数（医療機関から）

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

腸管出血性大腸菌	日本紅斑熱	メタロβラクタマーゼ産生菌	合 計
3	64	1	68

### 第3節 33101 健康づくり活動の推進

県民の死因の6割を占める生活習慣病を減少させるため、予防施策の指標となる「豊かにあれ健康づくり運動」を策定し、県民一人ひとりが健康づくりに取り組めるような社会環境の整備を行います。

#### 1 地域計画「豊かにあれ健康づくり運動」の総合推進

健康日本21の地方計画として、管内全市町との協働で「豊かにあれ健康づくり運動」を策定し、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「たばこ対策」、「歯の健康」、「健やか親子21（母子保健・思春期対策）」、「こころの健康づくり（休養・こころの健康づくり・自殺予防）」のテーマについて取り組んでいます。

推進プランに基づいた健康づくりを推進していくため、住民・ボランティア・市町・医療関係者・産業保健関係者等、地域の健康づくりに関する組織との協働を進め、事業の充実を図りました。

##### (1) 地域計画推進会議「豊かにあれ健康づくり運動推進会議」

医師会、歯科医師会、学校、ボランティア、市町、産業保健関係者等関係機関からなる会議を開催し、地域健康づくり計画である「豊かにあれ健康づくり運動」の進行管理を行いました。

開催日	内 容	参加者
平成24年 3月15日(木)	「豊かにあれ健康づくり運動」年度評価及び今後の目標指標について意見交換と検討	12人

##### (2) 市町担当課長・担当者との意見交換

健康づくり運動を展開するにあたっての現状と課題、平成23年度の課題、方向性、特定健診・保健指導等について、随時各市町との意見交換の機会を設けました。

## 2 テーマごとの推進

### (1) 身体活動・運動

住民主体の運動習慣定着をめざし、市町と協働で健康御師(おんし)の活動支援や運動の普及啓発を行いました。

伊勢保健福祉事務所では、江戸時代に伊勢詣の道中ガイドや宿泊・観光案内をした方達の呼称である御師(おんし)にちなんで、地域住民の健康づくりの案内を担う運動アドバイザー(ガイド・案内役)を「健康御師」と名づけています。現在213名の「健康御師」が、独自の事業や市町の事業で運動習慣定着に向け活動しています。

### (2) たばこ対策

喫煙対策は、防煙・分煙・禁煙支援の3本柱で展開し、公共の場における分煙化の推進や禁煙の啓発、防煙のための情報提供を実施しました。

- 世界禁煙デー前後に啓発用ポケットティッシュを窓口に設置しました。
- 伊勢保健福祉事務所ホームページに、たばこに関する情報を掲載しています。

※「栄養・食生活に関する『食環境の整備』」については本章第4節、「歯と口の健康づくりの支援」については本章第5節、「健やか親子21(母子保健対策の推進・思春期対策)」については本章第6節、「こころの健康づくり」については本章第8節に掲載しています。

#### 第4節 33102 食環境の整備

県民一人ひとりの健康的な食生活習慣の形成を図るため、保育所等関係者が協働して、若年期からの食育の推進及び「みえの食生活指針」の普及啓発を行います。健康的な食の選択を可能にするため、特定給食施設等に対する指導の充実を図るとともに、関係団体等と協働して健康に配慮した食の提供など、食環境の整備を進めます。

市町栄養士を支援するとともに、食に関する人材の育成とネットワークづくりを行い、地域に根差した栄養改善活動などを進めます。

### 1 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成を図るため、食事バランスに対する理解と「食事バランスガイド」の活用に向けた普及啓発を行うとともに、多様な主体と協働し、食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進しました。

#### (1) 野菜フル350推進事業

食生活の現状をみると、全ての年代で野菜の摂取が不足しており、生活習慣病予防の視点などから課題となっています。健康的な食生活が実践できるよう、1日の野菜摂取の目標量を350gとし、野菜摂取の増加（食事バランスガイドで副菜1つの増加）に焦点をあてた事業を推進しました。

##### ○野菜フル350普及啓発

日 時	内 容
①平成23年 10月9日(日)	・ 県営サンアリーナ 労働福祉フェスティバル2011 約200名
②平成24年 2月14日(火)	・ いせトピア 伊勢調理師協会 再講習 41名

#### (2) モーニングベジの推進

健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るために、朝食において野菜摂取を推進する。

##### ○普及啓発

日 時	内 容
平成23年 10月7日(金)	県営サンアリーナ ぐらしの交流展 約170名

○食育推進ネットワークプロジェクト会議

開催日	内 容	参加者
平成24年 2月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野における今年度実績について</li> <li>・プロジェクト会議における朝食取り組みについて</li> <li>・来年度の計画について</li> </ul>	13人

(3)「健康づくりの店」協働事業

○「いせしま健康もてなしの店」を通じた健康づくりの推進

伊勢志摩地域では、健康的な食環境の整備を図るため、平成13年度から、ヘルシーメニューの提供や栄養成分表示、健康情報発信等を通じて、健康を視点としたおもてなしを行う飲食店が「いせしま健康もてなしの店」として認定されています。(平成23年度末73店舗)。

この「いせしま健康もてなしの店」認定店がそれぞれの持つ多彩な特色を活かし、情報を共有し、連携を進めることにより誰もが楽しく食事ができる店づくりを支援するとともに、健康情報を発信し、健康的な食環境整備を図りました。

○「いせしま健康もてなしの店」推進委員会への参加

開催日	内 容
平成23年 6月20日(日) 平成24年 2月8日(水) 平成24年 3月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いせしま健康もてなしの店」の推進と取組状況等について</li> <li>・意見交換と検討及び企画</li> </ul>

○いせしま健康もてなしの店交流会の開催

開催日	内 容	参加者
平成 24 年 3 月 16 日 (金)	<p>・「いせしま健康もてなしの店」と交流と バランスメニュー研修会 テーマ：カロリー調整と調理 調理実習と講話 講師 江川美晴先生(管理栄養士) 展示、試食コーナー もてなしの店紹介、啓発物配布 栄養成分表示の相談 野菜たっぷりメニューの紹介・試食 トクホ等のカロリー調整食品の展示、説明</p>	飲食店関係者 約 50 名



○いせしま健康もてなしの店への支援

いせしま健康もてなし弁当の相談支援

○いせしま元気通信の発行

Vol. 7 「バランスメニュー編」 1000 部

いせしま健康もてなし店に配布

伊勢保健福祉事務所オリジナルホームページに掲載

[http://www.pref.mie.lg.jp/NHOKEN/HP/kenkou/kuraudo/genkitusin/genki\\_vo\\_7\\_nysaladnasi.pdf](http://www.pref.mie.lg.jp/NHOKEN/HP/kenkou/kuraudo/genkitusin/genki_vo_7_nysaladnasi.pdf)

#### (4) 人材育成・支援事業

##### ○ 市町栄養士研修

開催日	人数	内容
平成23年11月29日(火)	11人	災害時の食支援の実態について(報告)、情報交換

##### ○地域活動栄養士活動支援及び研修

開催回数	人数	内容
12回	地域活動栄養士8名	情報提供、研修等

##### ○管理栄養士臨地実習指導

期間	人数	養成校
平成23年6月10日(金) ～16日(木)	5名	鈴鹿医療科学大学
平成23年10月5日(水) ～11日(火)	5名	愛知県内管理栄養士養成校

#### (5) 栄養相談指導事業

区分		妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上	合計
個別		0	0	0	7	7
集団	回数	0	0	0	0	0
	延指導人数	0	0	0	0	0

## 2 栄養施行事務事業

### (1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設指導を実施するとともに保育所における食育の実施状況を確認、事業所における健康管理部門と給食管理部門の連携状況の把握を重点的に行いました。

また、給食関係者の資質向上を目指した研修会を開催しました。

○給食施設巡回指導

区 分	1回100食以上 または 1日250食以上	1回300食以上 または 1日750食以上	そ の 他	合 計
指導回数	12	4	51	67

○給食集団指導

月 日	内 容
平成23年 11月11日(金)	『保育所における食事の提供について』 志摩市社協ホール 志摩市公立保育所所長、行政担当者 17名

○給食施設栄養相談・指導

相談・指導件数 11件

○給食施設従事者研修会

開 催 日	内 容	参 加 者
平成23年 9月9日(金)	テーマ：『給食施設における非常時の対応について』 県伊勢庁舎 第3会議室	19人

(2) 栄養表示等の指導支援

健康増進法に基づき虚偽誇大広告の禁止、栄養表示基準にかかる相談・指導を行いました。

○特別用途食品・栄養表示等の相談・指導

相談・指導件数 10件

(3) 調査事業

○平成23年国民健康・栄養調査

実 施 時 期	調 査 対 象 地 区	実 施 人 員
平成23年11月	度会郡玉城町地内	15世帯67名

○平成23年県民健康・栄養調査

実 施 時 期	調 査 対 象 地 区	実 施 人 員
平成23年11月	志摩市浜島町地内	20世帯43名
	伊勢市津村町地内	14世帯39名
	伊勢市中之町地内	14世帯47名

## 第5節 33104 歯と口の健康づくりの支援

生涯を通じた歯科保健対策を確立し、一生自分の歯で食べることをめざし、住民の口腔保健意識の高揚と歯科疾患の予防について効果的な対策を図ります。

また、市町が進めるむし歯予防対策について、住民主体の具体的な取り組みを関係者で協働することにより、住民一人ひとりの取り組みに加え、それを支援していくための周囲の環境づくりを進めました。

### 1 関係者との協働による歯科保健の推進

住民、学校保健、市町、歯科医師会等と保健福祉事務所協働による具体的な推進、地域で考える児童の歯の健康づくりをめざし、地域・学校・保護者・歯科医・町がともに歯の健康を考える場を設けました。

#### (1) 南伊勢町みんな歯っぴいの会

乳幼児歯科保健推進をめざし、町内全歯科医師、全保育所、町による検討の場の進行管理をサポートしました。

開催日 : 平成23年12月20日(火)

#### (2) 志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク

志摩市において、歯の健康づくり計画策定をサポートしました。

開催日 : 平成23年11月29日(火)

平成24年 3月13日(火)

### 2 歯科保健普及啓発

むし歯予防に効果的であるフッ化物利用について、特に、洗口(ブクブクうがい)の普及をめざし、管内で市町主催によるさまざまな場を通じて、歯科保健に関する知識・情報の共有を図りました。また、歯周病予防についても成人対象に情報の提供を行いました。

#### (1) 実施状況

内 容	対 象	実施回数	参加人数
保育所・幼稚園で行うフッ化物洗口	保護者	14	361
歯・口の健康づくりについて	保育所長・保育士	7	166
歯・口の健康づくりについて	食生活改善推進員	1	15

#### (2) フッ化物洗口実施状況

地区歯科医師会とともにフッ化物に関する知識、技術等の専門的支援を行うことによつて、21か所でフッ化物洗口を実施しています。

### 3 地域計画の推進

管内歯科保健関係者で構成する地域8020運動推進協議会において、策定した地域歯科保健計画「南勢志摩歯科保健推進プラン」に基づき、各市町が乳幼児、成人それぞれについて、状況を把握し方向性を示すにあたり、専門的支援を行いました。

### 4 管外への支援

保健所歯科医師が伊勢保健福祉事務所管外において専門職として事業に参画しました。

- (1) 紀宝町、明和町、多気町において、関係者の協働で推進していく歯の健康づくりについて専門的支援を行いました。
- (2) 大台町において、フッ化物利用による乳幼児むし歯予防に関する研修を行い、大台町では全保育所（4箇所）でのフッ化物洗口を行っています。
- (3) 熊野、松阪両地域8020運動推進協議会開催にあたり保健所歯科医師が委員として、地域の歯科保健推進に専門職として参画しました。

## 第6節 33203 母子保健対策の推進

2010年（平成22年）までの母子保健国民運動計画である「健やか親子21」の三重県版「健やか親子いきいきプランみえ」に基づいて、「子どものこころとからだの健やかな発達」「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」を目指して、親と子の総合的な健康づくりに取り組みます。

### 1 健やか親子支援事業

#### (1) 未熟児等ハイリスク児訪問指導

出生時体重が2,500g未満で、保護者から未熟児出生の届出のあった児、未熟児養育医療を申請し訪問希望のあった児、地域での支援が必要なため医療機関から情報提供のあった児、とその保護者に対して育児支援を実施しました。

- 対象 : 未熟児およびハイリスク児とその保護者
- 訪問件数 : 延べ153件（実件数111件）
- 電話相談 : 延べ46件

#### (2) 児童虐待予防の推進

育児不安や精神疾患などにより子育て困難なハイリスク家庭への相談や家庭訪問を行い、児童虐待の未然防止を図っています。

また、必要時、児童相談所及び市町子育て支援担当者との同行訪問やケース検討会を開催し、関係機関との連絡調整を行い、虐待予防のためのハイリスク家庭への支援をしました。

- ① 同行訪問件数 : 延べ 11件
- ② 連絡調整およびケース検討会
  - 参加機関 : 児童相談所、市町担当者、障害者相談センター、少年サポートセンター、ハローワーク、医療機関等
  - 実施回数 : 10回
  - 内容 : 子育て困難ケースに関して情報の共有化と支援の検討

#### (3) 思春期健康支援

思春期は、身体的・精神的発達の変化が最も大きいため特有な悩みが多く、その対応が将来の健康に大きく影響を与えることから、健康的な性意識や性行動が身につけられるよう支援しました。

- ① 来所、電話相談
  - 思春期の身体やこころに関する相談を、随時、実施しました。
  - 相談件数 : 延べ 6件
- ② 関係機関との連携
  - 管内で小中学、高校生を対象に性教育を実践している団体が主催の思春期勉強会へ参加し、教育現場での性教育の実態把握に努めました。
  - 勉強会を通じて産婦人科医や助産師、養護教諭と管内の思春期保健の課題についても共有しました。
  - 参加回数 : 3回

#### (4) 母子保健体制整備

管内市町母子保健担当者の情報交換やスキルアップを図ることで保健所、市町の役割を明確にし、途切れない母子保健支援体制を整備しました。

開催日	参加数	内 容
第1回 平成23年 5月24日(火)	19人	・研修会 テーマ 「低出生体重児の医療の現状と課題」 講師 山田赤十字病院 小児科副部長 梨田 裕志氏
第2回 平成23年 6月27日(月)	16人	・健やか親子意見交換会 権限移譲について 母子保健分野における事業概要 健康福祉部こども家庭課母子保健グループより説明
第3回 平成23年 12月8日(木)	13人	・研修会 テーマ 「乳幼児訪問看護の現状と課題」 講師 山田赤十字病院訪問看護ステーション 看護師長 森田 周子氏

## 2 母子保健医療

### (1) 養育医療給付

身体の発育が未熟なまま出生し、出生時に諸機能を得るに至っていない未熟児に対して、医療給付を実施しました。

平成24年3月31日

区分		市町							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
申 請 件 数	1,000g未満	2	2	1	0	1	0	1	7
	1,000～1,499g	7	0	1	0	1	0	2	11
	1,500～1,999g	15	4	2	2	0	0	2	25
	2,000g以上	10	1	5	2	0	0	0	18
	合計	34	7	9	4	2	0	5	61

## (2) 自立支援（育成医療）給付

身体上の障がいをもつ、または現存する疾患を放置することにより将来において障がいを残すと認められる18歳未満の児童で、手術をすることにより確実な治療効果が期待できる児童に対して、医療給付を実施しました。

平成24年3月31日

区分	肢体不自由	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語機能障がい	心臓機能障がい	腎臓機能障がい	その他の内臓障がい	合計
件数	11 (3)	8	3	31	17	1	16	87 (3)

( ) 装具給付 再掲

## 3 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち、下記の11疾患を対象に治療研究費を給付することによって、患者家庭の医療費負担の軽減を図りました。

平成24年3月31日

区分	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	合計
件数	22	27	2	27	63	8	21	7	15	10	11	213

## 4 特定不妊治療費助成事業

指定された医療機関において、特定不妊治療（体外受精か顕微授精）を受けた夫婦を対象に、治療費の一部を助成しました。

平成24年3月31日

申請数	承認	不承認
169	169	0

## 第7節 34106 難病患者等の支援

難病患者の病気や日常生活に対する不安の軽減を図るため、保健所において医療相談会等を開催するとともに訪問診療や保健師などによる家庭訪問を実施し、患者の病状変化に応じた援助を行い、地域における支援体制の充実を図ります。

### 1 難病対策の状況

原因不明の疾患のうち国の指定する56疾患について医療費を公費負担し（重症の場合、全額公費負担。その他については上限を設定し、一部自己負担。）患者の負担軽減を図りました。

また、先天性血液凝固因子障害の患者に対し、医療費の公費負担を行い精神的・身体的不安の解消を図りました。

#### (1) 特定疾患医療受給者の状況

治療が極めて困難であり、長期の療養を要し、その治療費も高額なため、指定された56疾患の患者の自己負担を軽減し治療の促進を図りました。

平成24年3月31日現在

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
1	ペーチェット病	26	7	8	1	3	1		46
2	多発性硬化症	23		5	3	1		4	36
3	重症筋無力症	16	4	12	2		3	1	38
4	全身性エリテマトーデス	40	9	22	9	5	2	7	94
5	スモソン	2		1			2		5
6	再生不良性貧血	7	1	8		1			17
7	サルコイドーシス	28	2	13	1	2	2	3	51
8	筋萎縮性側索硬化症	10		5	3	1		3	22
9	強皮症・皮膚筋炎又は多発性筋炎	60	9	24	4	3	7	10	117
10	特発性血小板減少性紫斑病	32	7	14	2	1	1	9	66
11	結節性動脈周囲炎	12	1	6	1	1		3	24
12	潰瘍性大腸炎	138	20	59	15	8	6	7	253
13	大動脈炎症候群	6		4				1	11
14	ビュルガー病	5	3	4	1			2	15
15	天疱瘡	5					1		6
16	脊髄小脳変性症	24	9	17	2	2		5	59
17	クローソン病	34	5	6	2	1	5		53
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1		1					2
19	悪性関節リウマチ	7	1	7			2	3	20

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	109	28	70	12	5	15	34	273
21	アミロイドーシス	3	1	1			1		6
22	後縦靭帯骨化症	50	7	30	6	3	6	7	109
23	ハンチントン病	6							6
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	9	3	7		1			20
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	1				1	1	4
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	59	8	30	1	5	5	16	124
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群）	9	3	2	3				17
28	表皮水疱症			1					1
29	膿疱性乾癬	1	1	3	2				7
30	広範脊柱管狭窄症	1	1				3	1	6
31	原発性胆汁性肝硬変	55	8	22	4	5	2	5	101
32	重症急性膵炎	2	1						3
33	特発性大腿骨頭壊死症	3	1		1		1	1	7
34	混合性結合組織病	8	2	7	1	1		1	20
35	原発性免疫不全症候群	2							2
36	特発性間質性肺炎	16	2	6	1	3		6	34
37	網膜色素変性症	27	2	25	11	4	3	6	78
38	プリオソ病	1							1
39	原発性肺高血圧症	3						1	4
40	神経線維腫症（Ⅰ型・Ⅱ型）	2	3	1					6
41	亜急性硬化症全脳炎	1							1
42	バッド・キアリ症候群						1		1
43	特発性慢性肺血栓塞栓症	1	2						3
44	ライソゾーム病	1							1
45	副腎白質ジストロフィー			2					2
46	家族性高コレステロール血症								
47	脊髄性筋萎縮症								
48	球脊髄性筋萎縮症	2	1	1					4
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3	2	2	1	1	1	2	12
50	肥大型心筋症	8		2	1		1	1	13

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
51	拘束型心筋症								
52	ミトコンドリア症	1						2	3
53	リンパ脈管筋腫症								
54	急性多形滲出性紅斑（急性期）	1							1
55	黄色靭帯骨化症	3		1		1			5
56	間脳下垂体機能障害	15	2	2		3	1		23
合 計		879	157	431	90	61	73	142	1833

## （２）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

平成23年4月1日～平成24年3月31日

番号	病 名	件 数
1	第Ⅰ因子（フィブリノゲン）欠乏症	—
2	第Ⅱ因子（プロトロピン）欠乏症	—
3	第Ⅴ因子（不安定因子）欠乏症	—
4	第Ⅶ因子（安定因子）欠乏症	—
5	第Ⅷ因子欠乏症（血友病A）	7
6	第Ⅸ因子欠乏症（血友病B）	—
7	第Ⅹ因子（スチュアートブラウア因子）欠乏症	—
8	第ⅩⅢ因子（フィブリン安定化因子）欠乏症	—
9	Von Willebrand（フォン・ヴィルブラン）病	4
合 計		11

## 2 難病在宅ケア事業

### （１）事業の目的

#### ① 目 的

難病患者の療養生活を支援し、QOLの向上を目指します。

#### ② 目 標

- ・ 在宅患者及び家族の在宅ケアの充実を図ります。
- ・ 各関係機関との連携を強化していくことにより、地域支援体制の基盤を作ります。

## (2) 事業の内容

### ① 特定疾患医療申請時面接の実施

患者個々の状況や療養上の困りごと及び問題点を明確にし、必要なケアを行うため、申請手続に来所した患者・家族に対し面接及び電話による相談支援を行いました。

個別面接 300人（新規申請数 240人）

### ② 訪問相談等の実施

訪問対象者は筋萎縮性側索硬化症等の神経筋疾患が大半を占めています。

訪問人数 : 延べ26人（実人員 10人）

### ③ ケース検討会の実施 2人 実施回数 : 6回

### ④ 医療相談の実施

当事者及び家族 : 延べ20人（実人員 9人）

関係機関 : 延べ17人

相談従事者数 : 医師等10人

### ⑤ 地域ケア支援者育成研修等

開催年月日	内容及び担当者	出席者数
平成23年 6月21日(火)	三重県における難病対策について 講師 保健福祉事務所職員	伊勢市 ケアマネージャー 26名
平成23年 8月11日(木)	三重県における難病対策について 講師 保健福祉事務所職員	志摩市 ケアマネージャー 30名
平成23年 11月21日(月)	三重県における難病対策について 講師 保健福祉事務所職員	玉城町 ケアマネージャー 25名

## 3 肝炎治療特別促進事業（B型、C型ウイルス性肝炎インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療医療費助成制度）

### (1) 事業の目的

B型、C型肝炎のウイルス除去を目的に、インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成します。（平成20年4月1日から事業開始）

### (2) 公費負担医療状況

平成23年4月1日～平成24年3月31日

区分	件数
申請	146
承認	146

#### 4 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾に被爆し、今なお特別な状況にある者に対して、特別手当の支給等の措置を講じその福祉の向上を図るとともに、健康診断及び医療費助成を行い、健康の保持を図りました。

##### ○ 健康手帳交付、手当受給状況

平成 24 年 3 月 31 日

(単位：人)

区分		市町名								合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町		
健康手帳 交付状況	男	22	4	15	1	1	0	7	50	
	女	13	4	6	1	0	0	0	24	
	計	35	8	21	2	1	0	7	74	
各 種 手 当	医療特別手当	0	0	2	0	0	0	1	3	
	保健手当	3	1	0	0	0	0	0	4	
	健康管理手当	32	7	19	2	1	0	6	67	
	介護手当	0	0	0	0	0	0	0	0	
	家族介護手当	1	0	0	0	0	0	0	1	
	手当なし	0	0	0	0	0	0	0	0	
	葬祭料	2	3	0	0	1	1	0	7	
	計	38	11	21	2	2	1	7	82	

##### ○健康診断受診者状況

平成 24 年 3 月 31 日

(単位：人)

定期健康診断	検査項目	一般検査	肝機能検査	ヘモグロビン A1c
	第 1 回春	44	44	42
	第 2 回秋	41	41	21

がん検診 (希望による)	胃がん	肺がん	乳がん	大腸がん	多発性骨髄腫
	2	9	3	9	7

### 第8節 34404 精神障がい者の保健医療の確保

精神障がい者の実態把握に努め、精神保健福祉の普及・啓発を図ります。また、社会復帰の促進と自立、社会参加を目的に障害者自立支援医療受給者証や精神障害者保健福祉手帳を交付します。

#### 1 精神障がい者通報・障害者自立支援医療・手帳申請状況

##### (1) 精神障がい者診察申請・通報届出状況

区 分		年 度				
		19	20	21	22	23
法 23 条申請（診察及び保護の申請）			1			
法 24 条通報（警察官の通報）		37	20	25	16	21
法 25 条通報（検察官の通報）						
法 25 条の 2 通報（保護観察所長の通報）						
法 26 条通報（矯正施設長の通報）						
法 26 条の 2 届出（病院長の届出）						
申請・通報・届出の結果	措置入院	17	10	9	9	12
	不措置	20	10	16	7	9
	その他		1			

##### (2) 市町別精神保健福祉手帳所持者数及び自立支援医療受給者証所持者数

平成 24 年 3 月 31 日現在

市町	精神保健福祉 手帳所持者数	等級内訳			自立支援医療受給者 証所持者数
		1 級	2 級	3 級	
伊勢市	585	67	376	142	1,213
鳥羽市	54	12	28	14	148
志摩市	235	15	147	73	543
玉城町	41	5	29	7	112
度会町	17	2	9	6	65
大紀町	46	6	37	3	98
南伊勢町	65	6	50	9	134
合 計	1,043	113	676	254	2,313

##### (3) 措置入院患者数

平成 24 年 3 月 31 日現在

病名 性別	統合 失調症	躁鬱病	非定型 精神病	てん かん	脳器質性 精神障害		その他	合計
					老年精 神障害	その他		
男 性					1			1
女 性	2							2
合 計	2				1			3

## 2 地域精神保健福祉事業

精神障がい者を地域で包括的に支えるため、関係機関及び地域住民に保健所事業や精神障がい者への理解を得るよう地域への普及啓発を充実させ、また地域での受け皿づくり等、精神障がい者のよりよい地域支援体制づくりに向けての活動を行いました。

### (1) 伊勢保健福祉事務所地域精神保健福祉連絡会の開催

#### 【事業目的】

精神保健福祉関係者が協議し、地域精神保健福祉対策を総合的かつ効果的に促進するため、関係者の連携強化、精神障がい者に対する地域ケアの充実及び住民のこころの健康づくりを図ります。

#### 【構成】

市担当者、相談支援事業所、NPO 法人、病院・精神科クリニック等

開催日	場所	内容
○チームいせ 偶数月第4火曜日 15:30～17:00	県伊勢庁舎	情報交換、啓発、防災マニュアル・手帳等の作成、交流会の企画運営等
○危機ネットいせ (第1回) 平成23年6月29日(水) 13:30～16:00	県伊勢庁舎	講義「心神喪失者等医療観察法について」 講師：津保護観察所 社会復帰調整官 馬淵 伸隆氏 関谷 紀裕氏 情報提供「地域での支援の実際について」 志摩市役所保健師 小川 奈都子氏 障害者相談支援センターこだま 保健師 小久保 まさ氏 高見訪問看護ステーション 訪問看護師 高見 香氏 情報交換
(第2回) 平成24年2月29日(水) 13:30～16:00		講義「災害時の精神障がい者支援について ～三重県の現状と課題～」 講師：三重県こころの健康センター 所長 井上 雄一朗氏 講義「災害から身を守る～災害時要援護者 避難支援～」 講師：伊勢市消防本部 副署長 東内 孝道氏 情報交換

## (2) 精神障がい者地域交流会

地域住民が精神障がい者と交流することにより、精神障がい者に対する理解を深め、偏見の緩和を図りました。

開催日	場所	内容	参加者
平成23年4月19日(火) 平成23年5月17日(火) 平成23年6月21日(火) 平成23年7月26日(火) 平成23年8月5日(金) 平成23年8月16日(火) 平成23年9月20日(火) 平成23年9月27日(火) 平成23年10月1日(土) 平成23年10月18日(火) 平成23年11月8日(火) 平成23年12月20日(火) 平成24年1月17日(火) 平成24年2月21日(火) 平成24年3月13日(火)	県営体育館等	ソフトバレーボール	延べ 324人

## (3) 精神障がい者勉強会

日頃、気軽に学ぶ機会の少ない精神障がい者を対象に生活に必要なことをテーマに勉強会を開催しました。

開催日	場所	内容	参加者
平成23年 7月5日(水)	県伊勢庁舎	「交通安全について」 伊勢警察署 交通安全係、伊勢地区交通安全協会職員からの講義	35人
平成23年 11月2日(水)	県伊勢庁舎	「タバコについて(禁煙教室)」 伊勢赤十字病院研修医からの講義	20人

#### (4) こころ安心ネット事業

精神障がい者の方が地域で孤立することなく安心して生活できるよう、管内民生委員・児童委員に精神障がい者への理解と協力を得ました。

開催日	場所	内容	参加者
平成 23 年 9 月 29 日(木)	ハートプラザ みその 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の説明と協力依頼</li> <li>・ 精神障がい者のサービス</li> <li>・ 制度説明</li> <li>・ 作業所の現状等</li> </ul>	58 人
平成 23 年 11 月 21 日(月)	ハートプラザ みその 会議室	<p>「当事者の思い、支援者のこころの準備」について</p> <p>*当事者（ピアサポーター3名）に支援者がインタビューするかたちで講演、DVD上映等</p>	21 人

#### (5) 講演会

当事者及び地域関係機関の精神保健に関する知識や相談技術のスキルアップを行い、地域の精神保健機能の充実を図りました。

開催日	場所	内容	参加者
平成 23 年 10 月 12 日(水)	県伊勢庁舎	<p>講義及び演習</p> <p>「TRUE COLORS 入門講座」</p> <p>講師：三重県立桑名北高等学校 向井 典子氏 伊藤 裕介氏</p>	39 人
平成 23 年 11 月 14 日(月)	県伊勢庁舎	<p>講義及び演習</p> <p>「精神の記録の記載方法について」</p> <p>講師：こころの健康センター 橋本 晴美氏</p>	15 人
平成 24 年 2 月 1 日(水)	県伊勢庁舎	<p>講義及び演習</p> <p>「樹林気功で心と体をほぐしてみませんか！」</p> <p>講師：藤田 雅子氏</p>	24 人

## (6) 施設支援

作業所やグループホームにおいて作業訓練及び生活指導等を行い、精神障がい者の自立や社会参加に向けての一資源として充実を図っていただけるよう支援をしました。

- ① 職員への指導・支援 : 随時
- ② 連絡会、ケース会議への出席 : 14回
- ③ 当事者会への出席 : 5回
- ④ 家族会への出席・連絡調整 : 6回

## (7) 相談・訪問事業

### ① こころの健康相談

方 法 : 市町広報で周知を図り、電話予約による個人面接相談  
スタッフ : 精神科医師・保健師  
日 時 : 毎月第4木曜日または第3木曜日（10月は第4金曜日）  
13:00～16:00  
場 所 : 県伊勢庁舎（年10回） 県志摩庁舎（年2回）  
延べ件数 : 27件

② その他随時の相談	延件数	76件	実人員	51人
③ 電話相談	延件数	695件	実人員	219人
④ 訪問指導	延件数	201件	実人員	61人
⑤ メール相談	延件数	63件	実人員	2人

### 3 こころの健康づくり事業（地域自殺対策緊急強化事業）

社会環境の複雑化に伴い、地域ではさまざまなこころの健康問題が起こっています。こころの交流を豊かにすることで住民が地域で孤立せず、誰もが住み良い地域づくりをめざして各事業を実施しました。

#### 主な取組内容

	月 日	内容及び対象者	講師等
メンタルパートナー養成	平成 23 年 9 月 29 日(木) 10 月 21 日(金) 11 月 30 日(水) 12 月 5 日(月) 平成 24 年 2 月 26 日(日) 3 月 21 日(水)	(対象者) ヘルスマイト ハローワーク職員 精神事業所地域支援者 若者サポステ職員  傾聴ボランティア養成 介護職員	保健師
支援者等研修	平成 23 年 10 月 12 日(水)	こころの支援者研修会 「トゥルーカラー」 －五感に働きかけるスキルを学ぶ－①	高校教師
	平成 24 年 2 月 1 日(水)	こころの支援者研修会 「気林樹功」 －五感に働きかけるスキルを学ぶ－②	気林樹功講師
	隔 月	チームいせ連絡会議	関係機関職員
交流会	毎月 1 回	スポーツイベントを通して連帯感や助け合い精神の醸成、成功・失敗体験などを共感すること等で自分に自信をつける効果を期待し交流を図りました。	「チームいせ」構成メンバー
啓発	平成 23 年 9 月 9 日(金) ～16 日(金) 平成 24 年 3 月 1 日(木) ～31 日(日)	① 自殺予防週間：近鉄駅前キャンペーン 啓発品配布、庁舎のぼり旗  ② 自殺対策強化月間：市内大型店舗内外 HP 掲載、啓発品配布、庁舎幟	伊勢市市役所と協働
ネットワーキング会議	平成 24 年 3 月 15 日(木)	健康づくりに関する関係機関が一同に会し自殺対策を含めたメンタルヘルス対策について協議しました。	関係機関職員
その他	平成 24 年 2 月 10 日(金) 2 月 26 日(日) 3 月 16 日(金)	ピアサポーター養成講座 傾聴ボランティア養成講座 志摩市自殺対策関係者会議	保健師